

あいち農産物生産流通レポート

平成25年10月号

情報サロン		
・パン・中華麺に適した小麦品種「東海104号」を開発 (農業総合試験場)		1
地域トピックス		
・成功させよう あいち花フェスタ2013 (西三河農林水産事務所)		2
東日本情報		
・農林水産知的財産保護コンソーシアム総会が行われました (東京事務所)		3
西日本情報		
・あいちのぶどうフェアが開催されました (園芸農産課)		5
フラワーページ		
・あいち花フェスタ2013のご案内 (園芸農産課)		7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年7月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

パン・中華麺に適した小麦品種「東海104号」を開発

1 開発の背景

本県の平成25年産小麦の作付面積は約5,200haで、その大半は、「農林61号」など、うどん用の品種が栽培されています。県産小麦の用途拡大をめざす中で、農業総合試験場では、栽培しやすく、パン・中華麺への加工適性が高い小麦品種の開発に平成12年から取り組み、「東海104号」を新たに開発しました。

2 生育特性

- (1) 成熟期は、愛知県の主力品種である「農林61号」とほぼ同じで、愛知県の熟期区分では中生品種になります。
- (2) 稈が短く強いことで、倒れにくく、穂数は少ないものの、穂長が長く、「農林61号」と同等以上の収量が得られます。
- (2) 湿害や病害にも「農林61号」とほぼ同じ程度に強く、降雨があっても穂発芽し難い性質を備え、栽培しやすい小麦品種です。



写真1 成熟期の草姿

3 製粉及び粉の特性

- (1) 製粉の歩留は高く、やや黄色味がかった粉になります。
- (2) 「東海104号」でパンを作ると、よく膨らみ、少し黄色味がかった色合いを示すため、ロールパンや菓子パンにも向くと評価を得ています。また、黄色味を帯びて、適度な硬さの良質な中華麺ができます。



写真2 「東海104号」の穂（左）
（右：「農林61号」）

4 おわりに

「東海104号」は、東海地方で開発された初めてのパン・中華麺用小麦品種で、平成24年12月に品種登録出願しました。関係団体及び実需者との調整を十分に行い、東海地方での普及を目指します。

【本品種の開発は、農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用化技術開発事業」で実施した成果です。】

成功させよう あいち花フェスタ 2013

平成25年11月1日(金)～11月4日(月・休)の4日間及びプレステージとして平成25年10月19日(土)・20日(日)の2日間の計6日間の日程で「あいち花フェスタ2013」が西尾市で開催されます。(詳細はフラワーページ参照)

今年は西三河地域での開催ということで、豊田加茂地域を含めた西三河地域の市町や関係者が一致団結してこのイベントを通じて、西三河の花きの魅力発信と花のある暮らしを推進しようと、開催地の西尾市を中心に準備を進めています。

1 地元団体による多彩なディスプレイ

今回の花フェスタは、花いっぱいの会場づくりをコンセプトにしています。しかし、その場で見て楽しむだけの展示だけではもの足りないということで、来場の皆さんが家に帰って庭先でもできるディスプレイの見本となるよう、地元団体や学校に、小規模でも手作り感たっぷりの展示をお願いしました。



フラワーディスプレイ(イメージ)

2 花への思いを！花育教室

手軽に花に親しんでもらおうと子供向けのフラワーアレンジ教室が、プレステージも含めて開催期間中、毎日開催されます。子供たちがお小遣いで初めて作ったアレンジをお母さんやお父さんにプレゼントする光景が会場で見られることをスタッフ一同、楽しみにしています。



花育教室(イメージ)

3 地元市民や企業の皆様に感謝

限られた予算のなかで、何万人規模のイベントを行うには、多くの皆様のご理解とご協力が不可欠です。特に今回はメインステージ会場への交通手段、駐車場の確保が最大の課題でしたが、地元企業の皆様のご支援をいただき、来場者を迎え入れることができました。

また、プレステージでのミニコンサートやバラ園ガイドツアーには、地元のアーティストやバラ会の皆さんに、快く出演、講師を引き受けていただきました。

当日は天候に恵まれるようお願いしながら、関係者一同、花いっぱいの会場でお待ちしておりますのでぜひご来場ください。

農林水産知的財産保護 コンソーシアム総会が行われました

去る9月18日(水)に東京新橋の航空会館におきまして「農林水産知的財産コンソーシアム」の総会が行われ、本県もこのコンソーシアムの一員として参加しましたので、おもな活動内容について紹介します。

コンソーシアムの設立目的について

このコンソーシアムは、海外における農林水産分野の知的財産の侵害リスクが高まっている状況に対し、商標出願の一元的な監視体制や農林水産物等の海外における我が国の模倣品流通に関する情報収集・共有体制を整備し、農林水産知的財産の保護を図ることを目的とするものです。

主な活動内容(平成25年度予定)

商標監視(ウォッチング)調査

類似する中国語文字または図形商標の出願を監視し、公告時に異議をかけることを目的とします。調査対象は同一商標に加え、前方、後方の部分一致および発音・概観が類似しているもので、対象地域は中国、台湾、香港。

海外現地調査

・調査方法

日本産品、日本産と表示されているもの、日本の地名にただ乗りしている疑いのある

コンソーシアム(英語: Consortium)

2つ以上の個人、企業、団体、政府(あるいはこれらの任意の組合せ)から成る団体であり、共同で何らかの目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かってリソースをプールする目的で結成される。(ウィキペディアより)

設立趣旨

中国や台湾における、第三者による日本の地名、品種名等の商標登録を防ぐため、全国の自治体や団体などが結びつき、一元的な監視や情報収集・提供を行うことを目的に2009年6月に設立。

<主な会員構成>

地方公共団体(北海道をはじめ全国44都道府県)
団体・法人(JA全中など34団体)
個人(大学教授など有識者中心に8名)

事務局(ティフラインランドジャパン(株))
事業支援(農林水産省)

ものについて、写真撮影および聞き取り調査を実施した上で、会員に報告し、模倣実態等を明らかにします。

- ・調査実施場所
中国（上海、広州、青島、香港）
台湾（台北、高雄）
インドネシア（ジャカルタ）
マレーシア（クアラルンプール）
- ・調査対象場所
日本産品を扱う卸売市場、百貨店、スーパー、小売店など
- ・調査対象産品
農水産物全般

地方相談会の開催

会員の希望に応じて弁理士などの専門家を地域ブロックの相談会に派遣します。（愛知県は、岐阜県、三重県とともに東海ブロック）

知的財産権を活用した新たな海外展開ビジネスモデルの普及等

- ・知的財産権を活用したライセンスビジネスの成功事例をまとめ、手法、目的、留意点など体系化を行います。
- ・制度の把握や事例情報の収集、弁理士や有識者へのヒアリングを行い、事例を取りまとめます。取りまとめた事例をもとに事例集を作成し、会員相互で情報を共有します。
- ・成功事例を持つ事業者に講演を依頼し、地方相談会で講演を実施します。

ホームページ、メールマガジンでの情報発信（発信内容）

- ・新規会員募集
- ・幹事会での決定事項
- ・地方相談会の案内、予定と実績
- ・商標監視の案内、報告書サンプル
- ・知的財産保護に関するトピックス
- ・知的財産保護に関するFAQ

以上、総会で事務局より説明があった「農林水産知的財産保護コンソーシアム」の活動内容の抜粋です。これらの活動は、農産物輸出促進を図る際などに障害となることが懸念される事案に対して日本が一丸となって知的財産の保護強化を図るもので、本県においても農林水産物やその加工品の輸出への取り組みが盛んになっている現況において、このコンソーシアム活動の重要性が増してきています。

あいちのぶどうフェアが開催されました

県内の果樹生産者で組織された愛知県果樹振興会、愛知県経済農業協同組合連合会及び愛知県の共催により、平成25年8月20日(火)に名古屋市中区のJ A あいちビルで、第35回愛知県果実品質改善共進会(ぶどうの部)が開催されました。

共進会では、県内のぶどう生産者から出品されたぶどうの品評会とあわせて、その出品物を活用した消費宣伝イベント「あいちのぶどうフェア」が行われました。

フェアの内容について

1 あいちのぶどう人気投票

ぶどうの消費拡大を図るため、共進会に出品された高品質なぶどうを、多くの消費者に食べてもらい、その魅力を伝えることを目的として、「あいちのぶどう人気投票」を行いました。

人気投票は、予め公募した消費者33名が、品評会で上位に入った30点のぶどうを食べ比べながら、最も気に入ったぶどうを選んで投票するというもので、参加者には予選と決勝戦の2回、投票してもらいました。

その結果、予選を勝ち抜いた6点のぶどうの中から、岡崎市の生産者が作った赤色系のぶどう(品種名:紅伊豆(べにいず))が1位に選ばれました。2位には、豊田市の生産者が作った黒色系のぶどう(品種名:藤稔(ふじみのり))が、3位には、大府市の生産者が作った緑色系のぶどう(品種名:シャインマスカット)が選ばれました。

投票数が上位のぶどうを見ると、赤、黒、緑と色は様々でしたが、共通する点は、大粒で種なしであること、さらに糖度が高かったことです。

人気投票に参加した消費者は、目の前に並んだ黒、赤、緑と色とりどりのぶどうに目を輝かせ、ぶどうを頬張るたびに、笑顔で「甘い!」、「美味しい!」と歓喜の声をあげていました。

生産者が丹精込めて作ったぶどうが消費者の口に入り、ぶどうの美味しさに感動している様子は、まさに生産者の思いが消費者に伝わった瞬間でした。

2 ぶどうの即売会

即売会では、品評会に出品されたぶどうをお値打ち価格で販売しました。

非常に好評で、販売開始前からお客さんが行列をつくり、用意した約250房のぶどうが1時間ほどで完売しました。普段、スーパーでは目にしない珍しい品種の人气が特に高く、消費者ニーズが多様化していることがうかがわれました。



写真1 色とりどりのぶどうが並んだ
人気投票会場



写真2 ぶどうを食べ比べている消費者



写真3 1位のぶどう「紅伊豆」



写真4 2位のぶどう「藤稔」



写真5 3位のぶどう「シャインマスカット」



写真6 即売会に並ぶお客さん

あいち花フェスタ2013のご案内

あいち花フェスタは、花き産出額50年間全国1位の「花の王国あいち」をPRするとともに、花の消費拡大を図ることを目的に、昨年度から県内各地域を回り持ちで開催している県民参加型の花のイベントです。

第2回となる今年度は、ばらやカーネーションなど西三河地域最大の花の産地であり、市制60周年を迎えた西尾市で開催します。



あいちの花をふんだんに使った高さ4mの大型ディスプレイや、生産者が育てた逸品を集めた花の品評会、西三河地域の花の販売など、花いっぱいの会場がたくさんのお客をお待ちします。

1 開催期間・会場

・メインステージ

平成25年11月1日(金)～11月4日(月・休) 午前9時～午後5時
西尾市総合体育館及び西尾市スポーツ公園(西尾市小島町大郷1-1)

・プレスステージ

平成25年10月19日(土)・20日(日) 午前9時～午後4時30分
JA西三河西尾市憩の農園(西尾市齊藤町大割28)及び
JA西三河事務センター(西尾市齊藤町上吹11-1)

2 入場料

無料

3 主な内容

・メインステージ

ディスプレイ展示

主催者、県花き連、地元団体等による花いっぱいの装飾展示

コンテスト

きく、ばら、鉢物など県内生産者が育てた逸品による「あいちフラワーコンテスト」や「ハンギングバスケットコンテスト」、「バラを使ったフラワーデザインコンテスト」など

ステージイベント

11月2日(土)

・ガーデニング講演会(NHK「趣味の園芸」講師・天野麻里絵氏)

1 1月3日(日)

- ・お花屋さんが花束作りの技とコツを教えてくれる「花束のヒミツ」
(協力：名古屋生花小売商業協同組合)

1 1月4日(月・休)

- ・中日いけばな協会によるデモンストレーション
- ・「あいちフラワーコンテスト」の花を来場者が競り落とす模擬セリ体験
あいちフラワーカップ

JFTD(一般社団法人日本生花通信配達協会「花キューピット」)ジャパンカップ東海ブロック代表選考会(11月2日(土) サブアリーナ)
花育教室、県民参加による花等の展示、西三河地域の花等の即売会、市町いけばな展示

- ・プレステージ

ばらのミニコンサート、バラ園ガイドツアー、メインステージのPR、花育教室等

4 関連事業

JA西三河農業まつり

10月19日(土)・20日(日)(JA西三河事務センター)

JA西三河が主催する組合員等を対象にした農業イベントで、地元の農産物や加工品、グルメなどの販売やイベントステージが催されます。

西尾市農林水産振興展「アグリンフェア西尾」

11月2日(土)～4日(月・休) (西尾市スポーツ公園)

西尾市が市制60周年を記念して開催する地元の農林水産物を活かした物産販売イベントで、地元特産の抹茶やウナギ、加工品などが販売されます。

5 お問い合わせ先

あいち花フェスタ2013実行委員会事務局

(愛知県農林水産部園芸農産課内)

電話 052-954-6419(平日10時～17時)

メインステージ会場となる体育館の駐車場は利用できませんので、臨時駐車場をご利用ください。

詳しくは、あいち花フェスタ2013ホームページをご覧ください。

[http://www.pref.aichi.jp/engei/hana-festa/hana-festa2013\(h25\)/](http://www.pref.aichi.jp/engei/hana-festa/hana-festa2013(h25)/)

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
24年実績	922	446 (48%)	136	三重 (51%)
25年見通し	550	-	250	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知の豊橋を中心に、三重などから入荷する。施設ものは重油高の影響もあり、年々減少している。露地ものは10月中旬以降から出てくる。非常に豊作であった昨年の6割くらいの入荷となり、入荷量・価格とも平年並みの見込み。サイズはL、2Lが中心となり、Mが続く。今後の台風や害虫被害が心配される。</p>		<p>県内では次郎柿は人気があるが、岐阜の富有柿の知名度には及ばない。学校給食などを通じ、子どもの頃から柿を食べる習慣を身につけるなど、公の力を注いで地産地消の運動をしていくこともいいのでは。消費者任せではなかなか消費拡大は難しい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
24年実績	546	509 (93%)	226	静岡 (5.8%) 岐阜 (0.3%)
25年見通し	310	-	270	-
概 要 と 見 通 し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。大豊作の昨年との比較では、大幅減となるが、平年と比べると15%ほど減少する。台風による傷果が発生し、上位等級の割合は低くなる見込み。階級はL、2L中心で玉の肥大は順調である。着色も次第に進み、出荷開始は10月中旬の見込みとなる。出荷量は大豊作の前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込みである。</p>		<p>「りんご」「みかん」など競合する果実が本格化する時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別を徹底し、予約販売に向け産地の出荷動向などの的確な情報が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

9月13日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	20年	41,495	185	202	186	170	北海道 40%
	21年	41,407	165	158	169	169	長野 19%
	22年	34,154	233	216	223	261	群馬 10%
	23年	36,104	212	250	222	174	茨城 6%
	24年	38,044	176	177	175	168	
	計	5ヵ年平均	38,241	194	-	-	-
25年見通し	35,100	217	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。北の産地は特に天候不順が続いたため、生育状況はあまり良くない。土物は全体的に小玉傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
だい	20年	3,084	91	138	74	66	北海道 40%
	21年	3,416	55	55	52	59	青森 31%
	22年	2,323	103	130	84	99	新潟 11%
	23年	2,707	117	185	105	81	愛知 9%
	24年	2,631	80	95	73	79	
	計	5ヵ年平均	2,832	87	118	76	75
25年見通し	2,300	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道及び青森中心の入荷となる。高温、干ばつから一転、雨と低温により生育が非常に悪く、出荷量は不安定となり、上旬は高値が続く見込み。ただ、その後は安定して出てくると思われる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
に	20年	3,418	108	117	109	98	北海道 93%
	21年	3,020	108	105	119	102	青森 6%
	22年	2,314	154	160	155	147	中国 1%
	23年	2,753	133	161	161	102	岐阜 0%
	24年	2,972	92	115	103	72	
	計	5ヵ年平均	2,895	117	129	127	102
25年見通し	2,700	123	130	130	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、次いで青森からの入荷となる。北海道は生育期の干ばつ、8月の大雨で生育が悪く、昨年より入荷減となる見込み。青森の生育は順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

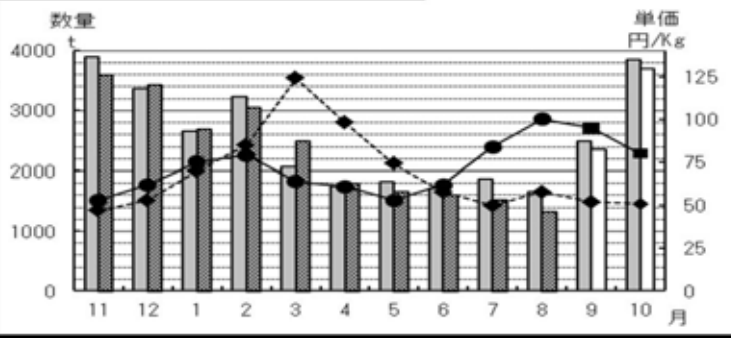
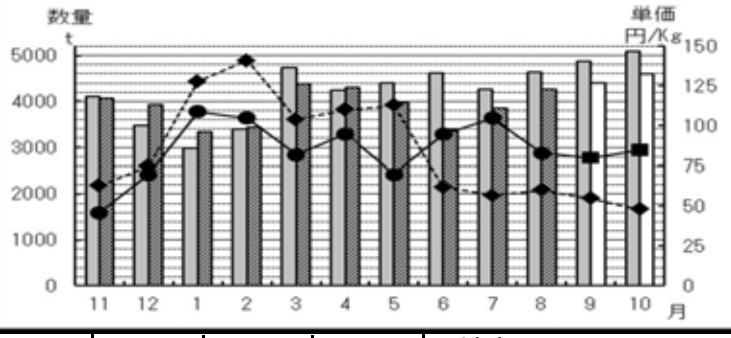
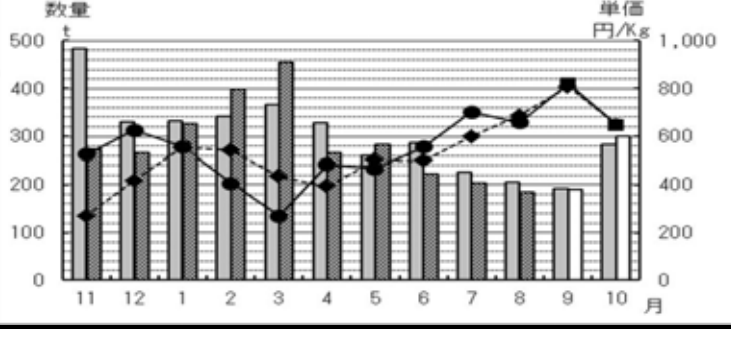
9月24日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	143,711	205	236	204	179	北海道 27%
	21年	146,454	177	168	179	184	長野 13%
	22年	130,018	245	283	226	230	茨城 12%
	23年	136,379	223	268	227	183	千葉 9%
	24年	145,020	196	198	194	196	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	140,316	208	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	141,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、東北からの入荷が減少し、関東産地からの入荷が本格化する。今年は夏の猛暑、台風18号の通過、その後の冷涼な気候等、変動が激しい状況の中で早い切り上がりによる出荷減の品目が散見される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	20年	13,795	83	131	68	53	青森 33%
	21年	14,596	52	57	47	52	北海道 31%
	22年	12,341	102	124	81	100	千葉 22%
	23年	13,391	102	161	91	69	岩手 6%
	24年	13,411	73	83	65	70	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	13,507	82	111	70	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	13,000	100	105	100	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>東北、北海道が終盤を迎え、関東産地からの入荷が始まる。青森は台風被害もなく生育順調で平年並の出荷が見込まれる。北海道は小ぶりと前倒しで10月の出荷量は少なくなる。千葉は生育順調で中旬より出荷。全体では入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	20年	8,326	114	121	119	104	北海道 90%
	21年	8,410	117	115	120	115	青森 7%
	22年	8,110	150	158	152	142	中国 2%
	23年	8,065	140	155	152	114	新潟 1%
	24年	8,767	101	118	99	88	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,336	124	133	128	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,500	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道中心の入荷となる。北海道は春先の寒さ、夏の高温、また、降雨の影響を受けながらも各産地とも安定的な出荷が続いており10月に入ってもこの傾向は続く見込まれる。入荷量は多かった前年をやや下回る。価格は安値の前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	4,185	82	111	75	64	長野 92% 茨城 4% 北海道 3%
	21年	3,960	55	59	48	58	
	22年	3,589	86	109	72	79	
	23年	3,704	99	188	119	56	
	24年	3,862	51	49	46	66	
	5ヵ年平均	3,860	74	102	72	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	3,700	80	100	80	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野中心の入荷となる。作付面積は減っているが、遅れていた分、10月の入荷は増えるのでは。ただし作況はあまり良くない。茨城からは、10月下旬から出始める。干ばつなどで遅れ気味であり、全体的にあまり多くの出荷は見込めない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
キャベツ	20年	4,603	74	81	71	71	群馬 61% 長野 16% 北海道 7%
	21年	4,584	63	70	60	59	
	22年	3,752	106	110	95	115	
	23年	4,721	89	111	89	77	
	24年	5,097	48	49	47	52	
	5ヵ年平均	4,551	74	83	71	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	4,600	85	85	85	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬を中心に、長野、茨城から入荷。群馬はまだ玉が大きくなってきていないが、生育は良好。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	20年	360	552	920	533	407	岐阜 55% 愛知 36% 長野 3% 千葉 2%
	21年	308	578	546	743	504	
	22年	334	564	842	544	427	
	23年	302	626	965	675	452	
	24年	282	648	766	611	588	
	5ヵ年平均	317	591	812	617	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	300	650	800	650	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜(高山)中心の入荷となる。秋冬の品種に変わって、Lサイズ中心の安定した出荷が見込まれる。10月中下旬になり、気温が下がってくると、愛知の稲沢のハウス物が出始める。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	20年	13,022	70	107	67	47	長野 79%
	21年	13,101	44	51	41	42	茨城 12%
	22年	13,881	85	113	69	74	北海道 5%
	23年	12,903	99	177	108	48	群馬 4%
	24年	14,201	50	50	46	55	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 25年見通し	13,422 13,500	69 80	100 90	66 80	53 70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野及び茨城からの入荷となる。長野は台風の影響も無く、冷涼な気候で病害、イタミ等の発生も少ない。順調な出荷が見込まれる。茨城は出始めて11月に本格化するが生育は順調。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キヤベツ	20年	15,337	69	80	65	62	群馬 66%
	21年	17,355	57	68	53	51	千葉 12%
	22年	14,373	106	117	93	109	岩手 8%
	23年	15,747	88	109	87	71	茨城 6%
	24年	16,505	42	45	37	45	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均 25年見通し	15,863 15,500	71 90	84 90	67 90	68 90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷で北海道、東北産は減少する。群馬は豊作ではないものの、台風被害もなく、順調な出荷が期待できる。千葉は現況、例年通り中旬からのスタートが見込まれる。岩手は少ない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	20年	1,792	464	731	419	345	群馬 39%
	21年	1,597	478	391	647	447	茨城 16%
	22年	1,590	535	751	475	464	栃木 14%
	23年	1,367	546	845	532	404	千葉 9%
	24年	1,433	589	711	608	492	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 25年見通し	1,556 1,400	519 580	686 620	536 580	430 540	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷となる。群馬は台風の被害は最小限であったが、気温変動が激しく生育は遅れ気味、茨城も同様の傾向。岩手は生育順調。全体の入荷量は、前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をわずかに下回る程度の高値で推移する見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	20年	1,423	325	378	309	289	北海道 42%
	21年	1,428	326	326	351	306	長野 17%
	22年	1,227	411	517	356	374	愛知 8%
	23年	1,334	299	404	290	241	富山 7%
	24年	1,272	337	379	319	332	
ぎ	5カ年平均	1,337	338	398	325	307	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,300	315	350	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道、長野からの入荷となる。両県とも出遅れが終わり、順調な出荷となる。愛知は夏ねぎと秋冬ねぎの狭間で、一時的に入荷が減少する。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
しゅう	20年	1,870	179	240	174	137	茨城 48%
	21年	1,936	88	74	90	100	長野 47%
	22年	1,446	249	405	206	187	兵庫 4%
	23年	1,751	170	240	179	124	愛知 1%
	24年	1,806	143	128	164	157	
す	5カ年平均	1,762	161	208	160	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,600	180	160	180	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長野は、産地が高冷地から準高冷地へと移り変わる。作況はそれほど良くなく、出荷量は例年を下回る見込み。茨城は定植の時期が干ばつの影響で遅れたため、10月中旬頃に出荷のピークを迎える。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅう	20年	1,454	317	391	275	294	群馬 34%
	21年	1,412	248	200	294	260	長野 17%
	22年	2,316	221	166	233	276	埼玉 15%
	23年	1,324	326	398	290	314	山梨 14%
	24年	1,179	295	278	285	332	
り	5カ年平均	1,537	274	272	270	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,100	335	400	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>群馬を中心に関東、長野から入荷する。夏秋ものの切り上げが早く、抑制ものに代わる。抑制ものの産地である群馬、埼玉の生育状況は良くない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	6,254	232	314	209	180	青森 28%
	21年	5,545	255	275	267	229	北海道 17%
	22年	5,272	340	428	289	309	秋田 13%
	23年	5,879	202	259	196	164	山形 10%
	24年	5,762	291	342	275	263	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	5,742	262	336	247	229	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,700	265	280	265	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、秋田に加え、関東産地からの入荷が増加。東北各県の作柄は、春先から遅れが回復しない状態に加え、低温多雨、台風の通過等で正品は少なめで下級品が多い出荷が続く見込み。 入荷量としては前年並となる見込み。価格は高値の前年をかなり下回る。</p>					
しそ	20年	8,409	161	212	158	123	茨城 63%
	21年	9,670	75	62	82	85	長野 26%
	22年	7,877	236	391	189	167	栃木 7%
	23年	8,686	163	221	169	113	群馬 2%
	24年	9,743	122	102	134	126	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	8,877	147	198	146	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,500	145	140	145	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。両産地とも若干台風の影響があったものの出荷への影響は少なく概ね順調。長野は下旬で終了見込みだが、このところの急激な気温低下で切り上がりが早くなるのが想定される。入荷量は順調に入荷した前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	20年	6,485	290	351	251	264	埼玉 32%
	21年	6,349	216	159	265	233	群馬 23%
	22年	5,498	315	340	243	392	茨城 11%
	23年	6,196	296	351	266	283	福島 11%
	24年	6,213	273	238	281	312	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,148	277	288	261	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,100	270	260	270	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷となる。関東産はこのところの急激な気温低下で10月にずれ込む量が多く、東北産は切り上がりが早い見込み。総体では入荷量は前年をわずかに下回る見込みで、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
な	20年	736	269	326	256	235	愛知 34%	
	21年	675	253	150	314	366	熊本 23%	
	22年	851	248	307	220	223	山梨 15%	
	23年	666	336	506	338	259	徳島 14%	
	24年	723	260	258	250	285		
す	5ヵ年平均	730	272	308	272	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	750	280	300	280	260		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		愛知、熊本、山梨からの入荷となる。夏秋ものから秋冬ものへの切り替え時期である。夏秋ものは、夏の暑さによる成り疲れが目立つ。秋冬ものはやや前進しており、平年並みの出荷となりそう。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
マ	20年	1,108	387	464	417	311	岐阜 31%	
	21年	1,363	272	245	276	301	愛知 21%	
	22年	917	494	635	458	421	熊本 11%	
	23年	941	484	723	580	321	千葉 9%	
	24年	959	537	473	571	607		
ト	5ヵ年平均	1,058	420	485	445	383	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	950	500	550	450	500		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		岐阜、愛知中心の入荷となる。この時期は夏秋ものと抑制ものの端境期にあたる。抑制ものの生育は順調。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。						
ミ	20年	283	649	672	751	527	北海道 42%	
	21年	334	520	527	544	494	愛知 33%	
	22年	235	1,025	1,237	1,159	693	茨城 9%	
	23年	284	912	1,051	1,031	720		
	24年	301	937	851	949	1,046		
ト	5ヵ年平均	287	793	843	867	693	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	280	800	800	800	800		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		北海道、愛知からの入荷となる。夏秋産地は前進出荷しており、例年より早く切り上がる見込み。抑制ものは少し遅れ気味。入荷量、価格とも前年をかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	4,107	247	348	215	197	高知 32%
	21年	3,435	221	173	307	313	栃木 21%
	22年	3,907	245	308	222	211	群馬 16%
	23年	3,366	334	486	314	262	茨城 10%
	24年	3,917	262	278	225	278	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,746	261	319	257	252	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,850	280	300	280	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地からの入荷が始まる。関東産は終盤になって台風による傷果やスレ果の発生により切り上がり早まる。西南暖地は今後の天候次第。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	20年	6,327	373	444	394	302	千葉 23%
	21年	7,681	266	239	269	294	茨城 17%
	22年	5,376	475	591	420	428	福島 12%
	23年	5,868	467	680	502	319	熊本 8%
	24年	5,968	528	442	576	596	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	6,244	412	479	432	388	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,800	390	390	390	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。千葉は作付は前年並、7月の天候不順により作柄が安定せず出荷は若干なくなる見込み。茨城も同様の傾向。青森については夏の高温、その後の多雨、台風等の影響で切り上がり早い見込み。熊本も低段の着果が悪い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	20年	1,263	618	608	708	549	茨城 21%
	21年	1,570	466	486	478	441	愛知 14%
	22年	1,045	923	1,154	1,010	658	北海道 13%
	23年	1,203	863	938	1,040	649	千葉 13%
	24年	1,320	885	774	891	1,013	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均	1,280	732	792	825	662	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,250	800	800	800	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道は終盤を迎え、関東産地と愛知からの入荷が増。天候不順の影響から各産地で遅れがあり、北海道も気温低下で落ち着いた出荷量。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年かなり下回る。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	524	306	257	348	313	茨城 33%
	21年	541	229	139	224	368	岩手 27%
	22年	461	415	508	382	377	北海道 14%
	23年	445	380	392	475	339	
	24年	447	233	248	255	297	
マン	5カ年平均	484	310	302	333	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	420	330	330	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
夏秋ものは北海道、東北地方から、抑制ものは茨城から入荷。作況はどの産地も悪く、出荷減となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
ばれいしょ	20年	3,516	74	74	76	72	北海道 99%
	21年	3,292	97	105	111	83	静岡 1%
	22年	2,729	142	159	154	117	青森 0%
	23年	2,709	109	125	117	94	
	24年	2,610	75	78	80	74	
いしょ	5カ年平均	2,971	98	106	106	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,900	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷が中心となる。小玉傾向は変わらず、8月下旬～9月は雨のため、掘り取りが遅れており、10月になって数量が増えることはなさそう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
たまねぎ	20年	6,034	69	73	67	67	北海道 99%
	21年	6,108	80	82	82	78	中国 1%
	22年	4,503	119	118	125	113	兵庫 0%
	23年	4,226	93	106	105	83	アメリカ 0%
	24年	5,578	70	77	75	70	
ねぎ	5カ年平均	5,290	84	89	88	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷が中心となる。作況的にはばれいしょと同様で、引き続き小玉傾向。10月に向かって出荷のピークを迎えるが、量的には昨年を下回るのでは。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	2,139	285	245	356	265	茨城 59%
	21年	2,151	220	121	222	337	岩手 18%
	22年	1,705	406	489	386	346	福島 9%
	23年	1,804	327	363	402	240	青森 4%
	24年	2,101	202	172	197	241	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	1,980	282	278	313	286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,000	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と東北産地中心の入荷となる。茨城の生育は順調で10月上旬に出荷のピークを向かえる。岩手は露地もので先日台風の影響で傷果等多く、減り込みが早まる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	8,133	93	94	94	92	北海道 99%
	21年	7,620	121	118	120	123	(愛知産比率 -%)
	22年	7,248	156	158	157	152	
	23年	7,192	122	123	124	120	
	24年	8,842	86	85	88	86	
5カ年平均	7,807	114	116	117	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	8,600	110	120	110	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。降雨の影響で掘取りが計画通り進んでいない。天候の回復で出荷量は増加してくる見込み。やや小ぶりではあるが、ずれ込み分もあり、入荷量は前年をわずかに下回る程度で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	11,484	79	80	80	78	北海道 96%
	21年	9,959	100	101	100	99	中国 3%
	22年	9,618	135	135	135	135	兵庫 1%
	23年	10,581	100	103	100	97	(愛知産比率 -%)
	24年	11,126	79	85	80	72	
5カ年平均	10,554	97	101	99	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	10,500	95	95	95	95		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で価格次第では輸入物が増加する。北海道は台風等での降雨の影響で収穫遅れあり、小玉傾向で推移してきたが10月出荷分については回復の見込み。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	15,873	233	244	235	221	長野 17%
	21年	14,579	216	235	213	201	三重 17%
	22年	12,196	285	324	282	250	和歌山 14%
	23年	13,154	262	307	269	233	フィリピン 14%
	24年	13,841	246	295	233	221	
	5ヵ年平均	13,929	247	-	-	-	
	25年見通し	13,400	240	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
三重、和歌山、長野中心に入荷。昨年が裏年であったみかんを除き、多くの品目が昨年を下回る入荷となりそう。愛知産のものは9月の台風の影響も心配される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
み か ん	20年	4,845	185	195	180	182	三重 62%
	21年	4,450	167	193	160	156	熊本 15%
	22年	3,228	221	261	228	188	和歌山 10%
	23年	4,113	174	224	187	148	静岡 5%
	24年	3,599	161	189	147	166	
	5ヵ年平均	4,047	180	-	-	-	
	25年見通し	3,900	180	200	180	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
三重を中心に、和歌山、静岡から入荷。三重は遅れていた分が10月に出てくる。小玉傾向であり、食味は天候次第。入荷量・価格とも前年をかなり上回る見込み。							
か き	20年	2,549	199	216	211	180	和歌山 70%
	21年	2,568	186	193	192	178	岐阜 11%
	22年	1,648	323	369	310	303	愛知 9%
	23年	2,225	260	291	251	260	三重 5%
	24年	2,334	223	290	216	195	
	5ヵ年平均	2,265	231	-	-	-	
	25年見通し	2,200	230	290	230	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
和歌山を中心に入荷する。全体的に前進傾向で、生育は順調。上中旬に出荷が集中すると思われるが、トータルだと前年よりは少なめとなりそう。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	56,692	229	239	229	220	和歌山 12%
	21年	57,281	207	225	205	194	熊本 9%
	22年	45,135	276	310	271	249	フィリピン 9%
	23年	46,781	265	291	265	247	青森 9%
	24年	52,113	234	262	225	219	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	51,600	240	-	-	-	前年及び本年の
	25年見通し	48,500	270	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、かき、なし、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」から「シナスイート」「早生ふじ」中心の入荷となる。夜温が下がり順調な入荷。なしは全体的に出回りが早い。果物全体の入荷量はなし、かきの入荷減から前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>					
み か ん	20年	17,805	165	190	158	152	熊本 30%
	21年	18,947	149	184	142	132	長崎 23%
	22年	12,648	201	265	197	167	愛媛 18%
	23年	14,156	187	226	185	172	佐賀 13%
	24年	15,304	162	181	147	166	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,772	170	205	163	156	前年及び本年の
	25年見通し	15,500	175	210	180	165	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に長崎、佐賀などの九州産地や愛媛などから「極早生」中心に入荷する。上旬は小玉中心、中旬からはS・M中心の入荷を見込む。着色や減酸も順調に進み品質良好。入荷量は前年並みとなるが、価格は残暑で苦戦した前年をかなり上回る見込み。</p>					
か き	20年	10,049	219	231	224	208	和歌山 50%
	21年	10,856	193	190	198	192	奈良 24%
	22年	6,752	320	384	303	297	福岡 6%
	23年	9,117	263	292	253	253	新潟 4%
	24年	10,097	209	267	191	189	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	9,374	234	263	228	222	前年及び本年の
	25年見通し	8,600	255	320	260	240	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山中心に奈良、愛知、新潟等から入荷する。前半は「刀根早生」中旬からは「平核無」中心に入荷。前年に比べ着色が良く生育順調で、1週間程度前進している。入荷量は大豊作の前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	20年	2,585	51	
		21年	2,185	51	
		22年	1,824	46	
		23年	1,802	61	
		24年	1,724	47	
	5ヶ年平均	2,024	51		
25年見通し	1,800	50			
概要	愛知、三重、長野を中心に入荷。気温も低下傾向にあり、高冷地産は終了に向かう。周年産地も昨年彼岸明けから動きが良くなかったこともあり、上旬までは作付は少なく、量的にはあまり多くなく、堅調に推移すると思われる。中旬以降は秋冬品種の出荷も始まり、品種や入荷によっては不安定な場面も出てくるとと思われる。				
小ぎ	実績	20年	1,270	23	
		21年	1,032	28	
		22年	964	20	
		23年	888	42	
		24年	951	29	
	5ヶ年平均	1,021	28		
25年見通し	1,000	30			
概要	愛知、長野、奈良等から入荷。山間地の出荷も終わり、地物中心に展開するが、地物の生産量は減少傾向にあり、やや少なめか。入荷量によっては強い展開も考えられるが、需要期ではないため平年並みの動きと思われる。				
カーネーション	実績	20年	1,304	37	
		21年	1,181	34	
		22年	1,152	40	
		23年	1,281	38	
		24年	1,188	68	
	5ヶ年平均	1,221	43		
25年見通し	1,250	50			
概要	長野、北海道、愛知中心に入荷。高冷地産は夏場の高温でやや前進傾向であり、徐々に減少していく。また、輸入物の不安定な入荷に加え、国産はプライダルに引っ張られ、相場展開は堅調な動きと思われる。				
かすみ	実績	20年	126	122	
		21年	123	93	
		22年	76	142	
		23年	61	175	
		24年	85	136	
	5ヶ年平均	94	127		
25年見通し	90	130			
概要	長野、北海道、福島、熊本、和歌山から入荷。入荷量は多くない。中旬より暖地産が増えてくるが、高冷地は減少していく。販売は業務中心で、例年より高単価で今期は販売されているため、高値疲れから単価は例年より安くなる可能性もあり、注意が必要。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	20年	405	165	
		21年	344	160	
		22年	368	184	
		23年	411	172	
		24年	381	162	
	5ヶ年平均		382	169	
	25年見通し		385	170	
概要	<p>オリエンタル系は新潟、岐阜、高知、埼玉、静岡などから入荷。入荷は上旬は少なそうだが、後半にかけ増えてくる。他の草花も少なそうで業務中心で引合いも強い。LAは彼岸後とあって、上旬は多いが後半にかけてやや増加。鉄砲は夏場の産地から冬場の産地に変わり、鳥取や高知など増加してくる。業務中心の販売で堅調な動きとなりそう。</p>				
洋らん	実績	20年	500	75	
		21年	426	68	
		22年	521	68	
		23年	608	65	
		24年	561	62	
	5ヶ年平均		523	67	
	25年見通し		560	65	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入品等が入荷。国内産については気温により入荷が左右されると思われるが、カトレアは9月入荷量が中旬以降集中したため、10月は若干少なめの入荷となろう。一定量を超える入荷が続くと急落する傾向があり、不安定な相場展開もありそう。</p>				
ばら	実績	20年	1,141	76	
		21年	1,095	67	
		22年	1,109	72	
		23年	1,030	73	
		24年	1,049	77	
	5ヶ年平均		1,085	73	
	25年見通し		1,100	77	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。気温も下がり、品質は良くなっていく。新品種や夏改植品種が出そろい、出荷量は安定する。気温が下がりすぎると燃油を炊く必要があり、例年以上の高騰により、厳しい生産状況にある。需要は2~3週にかけて3連休となるなど、日柄もよさそうなので、引合いは強くなり、堅調な販売となる。最近の状況を考えると注文が重なり、難しい対応となる。</p>				
枝も	実績	20年	1,705	44	
		21年	1,458	43	
		22年	1,753	43	
		23年	1,892	28	
		24年	1,668	45	
	5ヶ年平均		1,695	40	
	25年見通し		1,700	45	
概要	<p>秋を感じさせる紅葉物や実物が長野、岐阜を中心に入荷。その他、山形、岩手からも入荷。年々、花展も減少し、需要が減っているが、季節感がある実物や紅葉物は引き合いが強くなりそう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	20年	25,116	727	
		21年	21,406	666	
		22年	23,553	699	
		23年	27,488	737	
		24年	25,564	792	
	5ヶ年平均		24,625	727	
	25年見通し		25,500	784	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様にユッカ、コンシを主体とした見込み。7号が中心となる。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(65.7%)、2位鹿児島(14.5%)、3位沖縄(9.4%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	20年	77,832	385	
		21年	81,947	344	
		22年	60,104	376	
		23年	61,253	448	
		24年	61,116	387	
	5ヶ年平均		68,450	385	
	25年見通し		60,000	383	
概要	<p>愛知、関東ともに大幅な作付変更はなく、入荷量は昨年並み、もしくはやや減少の予想。ただし、小鉢化の傾向があるため、価格面では昨年を下回る見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(59.9%)、2位埼玉(32.7%)、3位茨城(6.9%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	20年	591,078	197	
		21年	638,715	180	
		22年	504,016	184	
		23年	628,281	185	
		24年	520,300	177	
	5ヶ年平均		576,478	185	
	25年見通し		520,000	173	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。大半はガーデンシクラメンと4号が主流となる。ガーデンシクラメンは昨年同様、作付けは増加傾向にある。中旬あたりから5号鉢はやや増加傾向。残暑の残る上旬については価格は厳しく、相場が安定するのは中旬以降と予想される。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(37.3%)、2位長野(23.3%)、3位北海道(17.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	20年	9,807	2,227	
		21年	7,369	2,060	
		22年	4,307	1,808	
		23年	8,765	2,201	
		24年	5,020	1,983	
	5ヶ年平均		7,054	2,100	
	25年見通し		5,000	1,900	
概要	<p>入荷量は減少か。単価面では早いタイミングでの出荷だと単価がつき辛く、年末に向けてシフトして行っている。地元産はそれなりの数量の出荷があると思われるが、遠方は昨年同様少ない予想。生産者には出荷前の水遣りをしっかりお願いしたい。また買受人側も同じく、購入後すぐに水遣りをお願いしたい。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（68.0%）、2位静岡（7.9%）、3位高知（6.3%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	20年	61,475	202	
		21年	63,148	202	
		22年	47,561	200	
		23年	50,809	201	
		24年	53,440	194	
	5ヶ年平均		55,287	200	
	25年見通し		53,000	189	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。気温も落ち着き、開花等、品質も安定しそう。特に5号～6号の販売は安定傾向にあるが、3.5号～2.5号等の小鉢は苦戦が予想される。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（44.8%）、2位岐阜（44.1%）、3位茨城（4.4%）となっている。</p>				
パンジー	実績	20年	869,903	49	
		21年	943,282	45	
		22年	602,791	50	
		23年	961,088	46	
		24年	775,617	44	
	5ヶ年平均		830,536	47	
	25年見通し		750,000	45	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。暑さの影響もあり、定植遅れ、株の充実不足など前半の開花株は昨年より少なめ。需要と重なり相場も安定と予想。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（36.9%）、2位奈良（25.6%）、3位三重（10.9%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2013年)

1 輸入実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	57,973	79.6	6,433,458	100.0	111	125.5	460,728	79	53,571,041	103	116	129
トマト	998	142.9	329,481	114.8	330	80.4	4,292	142	1,602,330	149	373	105
たまねぎ	22,633	68.3	876,979	57.6	39	84.3	146,046	66	9,447,604	116	65	174
にんにく	1,939	105.2	331,871	89.1	171	84.7	10,269	88	2,095,490	137	204	156
ねぎ	5,219	126.7	519,426	109.3	100	86.2	30,533	101	3,354,871	90	110	89
ブロッコリー	4,013	115.3	751,538	136.1	187	118.1	23,231	75	4,314,091	94	186	126
結球キャベツ	1,792	131.7	57,382	139.9	32	106.2	18,802	61	721,218	64	38	104
にんじん・かぶ	7,403	67.2	387,584	81.3	52	121.0	46,269	83	2,547,871	96	55	115
ごぼう	3,751	76.7	227,896	99.8	61	130.1	21,620	78	1,089,660	72	50	92
えんどう	138	89.5	50,550	113.5	365	126.8	1,277	67	449,579	67	352	99
アスパラガス	162	71.7	107,922	83.0	665	115.7	6,828	64	3,836,051	84	562	131
まつたけ	129	89.3	489,536	95.5	3,791	107.0	131	90	494,600	96	3,780	107
しいたけ	104	89.2	42,704	123.1	412	138.0	2,005	77	680,825	78	340	101
かぼちゃ	387	26.3	36,448	30.3	94	115.1	85,572	86	6,520,205	100	76	116
果実(生鮮・乾燥)	174,365	95.5	25,123,152	109.5	144	114.7	1,114,428	90	161,387,433	110	145	121
バナナ	90,069	91.9	7,831,235	115.4	87	125.5	582,373	88	48,269,239	110	83	125
パイナップル	19,015	100.4	1,197,765	106.9	63	106.5	108,108	102	6,518,018	105	60	102
レモン	5,789	66.3	782,504	91.5	135	138.0	28,344	84	3,928,485	103	139	124
オレンジ	11,589	120.6	1,278,140	132.5	110	109.9	78,636	79	8,696,767	91	111	115
グレープフルーツ	18,812	123.8	1,389,228	120.7	74	97.5	99,501	85	9,908,495	96	100	112
メロン	2,419	107.8	257,928	128.9	107	119.6	22,513	125	2,427,727	123	108	98
ぶどう	700	111.2	222,569	139.9	318	125.8	13,685	102	3,185,058	119	233	117
キウイ	7,219	104.3	2,451,653	109.6	340	105.1	38,037	91	12,625,807	88	332	97
いちご	542	106.2	519,505	123.2	958	116.0	911	100	875,267	118	961	119
切花(生鮮・乾燥)	3,519	102.0	2,743,860	116.2	780	113.9	24,465	100	19,271,432	106	788	106
鳥獣肉類	184,954	111.9	86,766,454	122.8	469	109.8	1,044,751	100	491,689,893	110	471	109
牛肉(くず肉含む)	69,175	137.4	33,187,730	152.1	480	110.7	312,258	107	155,854,345	127	499	118
豚肉(くず肉含む)	62,365	95.0	32,964,117	95.6	529	100.7	422,572	95	222,663,498	95	527	100
鶏肉	41,917	103.4	11,592,627	134.5	277	130.1	249,211	99	68,075,007	118	273	118
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	138,398	93.6	86,464,888	103.4	625	110.4	980,887	91	572,592,626	95	584	104
まぐろ類	15,964	105.2	11,991,683	94.6	751	89.9	120,588	96	98,574,122	92	817	96
さば・さんま・あじ・いわし	3,230	65.1	757,342	68.4	234	105.2	38,996	76	7,246,000	76	186	99

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	253	151.0	232,550	165.9	918	109.9	8,376	357	3,374,854	248	403	69
うんしゅうみかん	2	475.1	2,787	508.6	1,273	107.1	159	134	90,280	123	569	92
りんご	75	183.2	29,313	154.2	390	84.2	7,636	403	2,579,579	305	338	76
なし	0	-	209	-	929	-	18	178	9,214	196	512	111
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	208,820	127.3	-	-	-	-	1,535,121	115	-	-
緑茶	250	118.9	558,845	125.9	2,236	105.8	1,543	123	3,518,335	129	2,281	105

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 3月	99.4	90.2	104.2	98.2	99.5
	4月	99.7	90.7	100.7	98.3	100.3
	5月	99.8	87.1	104.4	98.5	99.5
	6月	99.8	85.7	103.4	98.4	99.9
	7月	100.0	94.1	98.4	99.2	101.6
	愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
25年 3月		99.1	89.7	108.9	99.0	100.4
4月		99.6	91.2	105.1	97.2	103.7
5月		99.7	88.3	107.3	97.0	101.5
6月		99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
7月		100.0	99.3	98.4	100.2	105.9

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 3月	100.9	114.1	92.8	100.0	103.3
	4月	100.7	114.7	91.8	98.8	104.2
	5月	99.5	114.1	82.2	103.3	105.6
	6月	97.4	113.5	88.5	99.4	105.5
	7月	102.4	113.3	98.3	102.0	108.2
	愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
25年 3月		99.1	89.7	108.9	99.0	100.4
4月		99.6	91.2	105.1	97.2	103.7
5月		99.7	88.3	107.3	97.0	101.5
6月		99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
7月		100.0	99.3	98.4	100.2	105.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	り ん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg									100g	1kg	
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年 3月		2,158	146	170	525	458	272	144	362	199	447	703	167	466
4月		2,167	143	183	504	469	278	133	401	209	463	634	150	475
5月		2,167	165	173	626	329	290	132	355	211	378	504	147	499
6月		2,158	124	170	645	284	282	133	363	209	470	496	155	544
7月		2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	パ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (ロー ス)	牛 肉 (ロー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年 3月		571	314	350	156	222	801	514	155	174	327	213	844	407
4月			287	333	143	238	728	531	156	163	319	211	790	420
5月			308	372	149	223	719	559	170	166	311	214	753	399
6月			304	387		210	781	557	141	167	311	223	742	409
7月		513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 484
平成25年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421